



阿波ふうど
AWA FOOD

「阿波ふうど情報」 (Vol.109)

～とくしまブランド推進機構の活動をお知らせします～

◆ブロッコリー機械化一貫体系の実証について ～ブロッコリー収穫機の実演会を開催～

株式会社ニッキーファーム、ヤンマーアグリジャパン株式会社、徳島県立農林水産総合技術支援センター、徳島農業支援センターの4者は連携して、作業性の効率化・省力化を目指した「**ブロッコリー機械化一貫体系の実証**」に取り組んでいます。

この度、現地実証ほ場(徳島市国府町)で開催されました「**ブロッコリー収穫機の実演会**」では、農業者、JA、メーカー、県関係機関の担当者ら約50名が参加しました。

はじめにメーカー担当者から収穫まで一貫した機械化体系の取り組み状況や、各作業工程(うね立て、定植、中耕・追肥)で使用したGPS活用の農機の紹介があった後、収穫作業の実証として、ブロッコリー収穫機(ヤンマー/HB1250)による収穫作業が実演されました。

実機での収穫作業は、従来の手作業で行われていた“ブロッコリーの引き抜きから搬送、上葉と茎のカット”の工程を機械化したもので、参加者は乗車したオペレーター1名と補助者3名が手際良く収穫する様子を見入っていました。

今回の実証に取り組んだ株式会社ニッキーファーム 代表取締役社長の仁木光俊氏(37)からは「GPSを活用した直線アシストの効果は絶大で素晴らしい、誰にでも操作できてスキルを問わない、導入を目指したい。加工業務用ブロッコリー生産者として非常に魅力的だ。収穫機は秋作でも試して再検証したい」など確かな手応えと今後への意気込みが伝わってきました。



ブロッコリー収穫機の実演会(5月17日)

◆輸出セミナー欧州編の開催について

徳島県もうかるブランド推進課は、5月31日(火)に欧州市場へ精通する専門家及び、輸出事業に携わる関係機関を招き、新たな輸出に取り組む事業者や、海外展開に積極的に取り組む事業者をターゲットとした輸出セミナー(欧州編)を開催し、当日は、会場とオンラインから、多くの事業者等が参加しました。

また、講師である合同会社五穀豊穰 西居豊氏からは、現地に渡航された経験による**リアルタイムな市場の動向**をはじめ、「外部を頼るのではなく、自社が主体性を持って行動する」等、輸出に取り組む上での心がけについてご講演いただき、参加者等は熱心に耳を傾けていました。

さらに、質疑応答の場面では、参加者等が「欧州市場における今後の食のあり方」や、「輸出時における発送コストの削減方法」等、自社の輸出拡大に向けアドバイスを求めており、多くの参加者等が海外展開に積極的に取り組もうとする熱心な姿勢が見受けられ、本セミナーが、**本県の輸出拡大に向けたさらなる飛躍**に繋がったものと感じています。



西居氏によるセミナーの様子